

登録団体概要書

(2022年12月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりほうじんおぎじまのまちなみほぞんすいしんきょうぎかいみんなのわ 特定非営利活動法人 男木島の町並み保存推進協議会 みんなの輪			
代表者職・氏名		理事長 小林美代子			
主たる事務所の所在地		〒760-0091 香川県高松市男木町1894			
連絡先等		電 話	090-7146-2268	F A X	05016005885
		e-mail	miyokoppk@gmail.com		
		ホームページ	https://ogijimamatinamihozon.jimdosite.com/		
法人設立年月		平成29年 11月	正会員数	15人	
活動目的 (定款に記載された目的)		男木島の古民家と石垣の町並みは、大変美しい景観である。しかし、古民家の半数は、空き家であり、放置された古民家も多く廃墟となって、通行に危険であり、景観を損なうものである。この法人は、町並みを安全で美しいものとしてどのように保全していくことが必要か、討議し、日々崩れつつある町並みを住民主体で保存していくことを目的とする。また、町並みに残る生活文化を伝承し、自然を適正に保持するために、文化を伝える活動を定期的に行い、植物園を作り、人々が、男木島の文化や自然と触れ合うことができるように教育的な活動を行うことを通して、生活文化や自然の豊かさを学ぶことができるようにする。			
主たる活動分野		まちづくりの推進を図る活動			
活 動 状 況	主な活動	① 古民家・石垣・農地の適正保持に関わる活動 ② 危険な古民家解体 ③ 古民家の安全のための修繕 ④ 生活文化伝承事業(教育) ⑤ 里山の適性管理(植物園づくり事業)			
	活動地域	男木島			
	活動頻度	1ヶ月に2から3回			
	過去の事業実績	2017年 築101年の空き家を香川県産木を使って修繕。 2017年 石垣づくりワークショップ 2018年 インパクトドライバー講習会、男木島の防災勉強会 2018年から2019年築70年の危険空き家および倉庫を修繕。 2019年から2022年現在香川県みどり整備課委嘱みどりの学校開催 藪化した里山を市民と整備。シェアハウスづくり、崩壊した石垣を修繕			
今後の活動方針		・集落の背後には、藪化した里山が迫っている。2017年の長雨によって集落の3つの石積みが崩壊したが、今後の長雨や大雨によって、土砂崩れや、石垣の崩壊につながる危険性がある。里山に細根の樹木を植林することによって、里山の保水力を高め、土砂崩れを防ぎ、集落の家々や石積みを守りたい。			
県民へのPR		高松港から40分、景色は一変し、明治から昭和初期にかけてつくられた「町並み」は、日本の過去の生活を感じ、持続可能な生活文化も残っています。男木島を守る活動にぜひ、ご協力ください。			

活動状況報告書

(2022年12月作成)

団体名 特定非営利活動法人 男木島の町並み保存推進協議会 みんなの輪

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	<p>男木島の古民家と石垣の町並みは、大変美しい景観である。しかし、古民家の半数は、空き家であり、放置された古民家も多く廃墟となつて、通行に危険であり、景観を損なうものである。この法人は、町並みを安全で美しいものとしてどのように保全していくことが必要か、討議し、日々崩れつつある町並みを市民と行政が力を合わせて保存していくことを目的とする。また、町並みに残る生活文化を伝承し、自然を適正に保持するために、文化を伝える活動を定期的に行ったり、植物園を作り、人々が、男木島の文化や自然と触れ合うことができるように教育的な活動を行ったりすることを通して、生活文化や自然の豊かさを学ぶことができるようにする。具体的には、市民を対象に「石垣づくりの講習」や「家の補修のためのインパクトドライバーの使い方講習」里山整備などを行っている。</p>
より公益性の高いNPO活動を行っていること	<p>かつて1500人が暮らした男木島は、人口160人になり、頂上付近まで耕されていた段々畑も、自然の山に還っている。土地を平らにするための石積だけが、かつての人の働きかけを感じさせてくれる。小さな土地でも個人の所有であるため、所有者以外が活用することもできず放棄地として荒れている。自然とふれあいたい人でも土地を持つことは、現在はまだむずかしい。活用したい人が活用できるようにするにはどうしたらよieldろうと、荒れ果てていく畑や、山を見つめる日々が続いていた。</p> <p>2019年2月、ぜひ、山を活用してほしい、という申し出があり、法人の土地として同年11月に登記完了、自然と触れ合う機会が少ない人に活用してもらう活動「香川県みどり整備課委託事業 みどりの学校」を始めた。目的は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然とふれあう機会を一般市民に提供する ・自然とのふれあいを通して、健康づくりなど日本に伝わる文化を一般市民と共有する ・藪化してイノシシが生息しないように里山の整備をし、今後の長雨や豪雨での土砂崩れや石積みの崩壊対策のため、細根の植物を植え山の保水力を高める。
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	<p>「香川県みどり整備課委託事業 みどりの学校」は、2019年12月21日を第1回とし、里山に人が入ることができるように整備、果樹の苗や、薬草を移植した。里山の整備と整備地の維持管理の活動は、毎月2回。</p> <p>集落の中には、家が崩れ、更地になって草が生え蛇やハチが生息するようになった空き地がある。その空き地を整備することによって島の人や来島者が災害時に一時避難する安全地帯作りも行っている。</p>

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。